



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年2月12日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社ユー・エス・エス

コード番号 4732 URL <https://www.ussnet.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 之弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長統括本部長 (氏名) 山中 雅文 TEL 052-689-1129

四半期報告書提出予定日 2019年2月13日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	58,339	8.0	27,114	4.4	27,586	4.5	18,476	4.6
2018年3月期第3四半期	54,003	11.1	25,973	11.2	26,388	10.7	17,671	7.9

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 18,509百万円 (1.8%) 2018年3月期第3四半期 18,188百万円 (11.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	72.69	72.56
2018年3月期第3四半期	69.56	69.44

(注) 前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2018年3月期第3四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	205,661	178,508	86.0
2018年3月期	222,292	172,190	76.8

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 176,878百万円 2018年3月期 170,767百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年3月期については遡及適用後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	ー	23.50	ー	24.30	47.80
2019年3月期	ー	24.60	ー		
2019年3月期(予想)				24.60	49.20

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	79,200	5.4	37,300	3.4	37,800	3.1	25,000	2.9	98.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	313,250,000株	2018年3月期	313,250,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	59,028,139株	2018年3月期	59,144,794株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	254,155,431株	2018年3月期3Q	254,022,591株

(注) 2019年3月期3Qの期末自己株式数には139,200株、2018年3月期の期末自己株式数には255,900株、U S S従業員持株会専用信託が所有する株式が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は2019年2月12日(火)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(企業結合等関係)	11
(重要な後発事象)	12
3. 補足情報	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内自動車流通市場は、登録車の新車登録台数が2,369千台（前年同期比0.4%増）、軽自動車の新車登録台数は1,361千台（前年同期比5.0%増）と増加し、新車登録台数全体では3,731千台（前年同期比2.1%増）となりました。

中古車登録台数は、登録車が2,792千台（前年同期比0.4%増）、軽自動車は2,195千台（前年同期比2.2%増）となり、中古車登録台数全体では4,987千台（前年同期比1.2%増）と前年同期実績を上回る結果となりました。

（（一社）日本自動車販売協会連合会、（一社）全国軽自動車協会連合会調べ）

また、中古車輸出市場は、主な仕向地のうち、ミャンマー、パキスタン、ニュージーランドなどの輸出台数が減少したものの、アフリカ諸国やスリランカ、モンゴル向けの輸出台数が増加したことなどから輸出台数は1,023千台（前年同期比1.9%増）となりました。（財務省貿易統計調べ）

オートオークション市場における出品台数は5,458千台（前年同期比1.4%減）、成約台数は3,524千台（前年同期比1.1%増）、成約率は64.6%（前年同期実績63.0%）となりました。（（株）ユーストカー調べ）

このような経営環境の中、U S Sグループの当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高58,339百万円（前年同期比8.0%増）、営業利益27,114百万円（前年同期比4.4%増）、経常利益27,586百万円（前年同期比4.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益18,476百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

オートオークション

2017年8月に株式会社ジェイ・エー・エーを子会社化（みなし取得日 2017年9月30日）したことから、出品台数は2,115千台（前年同期比10.5%増）、成約台数は1,330千台（前年同期比9.7%増）、成約率は62.9%（前年同期実績63.3%）となりました。取扱い台数が大幅に増加したことに加え、2018年2月に実施した会場落札手数料の値上げなどにより、オークション手数料収入が増加しました。

営業費用については、株式会社ジェイ・エー・エーの子会社化にともない、連結対象となった子会社の費用が増加したことに加え、のれん償却額が1,487百万円（前年同期実績372百万円）となりました。

この結果、オートオークションのセグメントは、外部顧客に対する売上高47,277百万円（前年同期比11.2%増）、営業利益26,394百万円（前年同期比4.7%増）となりました。

中古自動車等買取販売

中古自動車買取専門店「ラビット」は、不採算店舗の見直しを進めたことから販売台数が減少したものの、利益率の改善などにより減収増益となりました。事故現状車買取販売事業は、販売台数は増加したものの、台当たり粗利益が減少したことなどから増収減益となりました。

この結果、中古自動車等買取販売のセグメントは、外部顧客に対する売上高6,951百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益164百万円（前年同期比8.3%増）となりました。

その他

廃自動車等のリサイクル事業は、パーツ販売の一部を終了したことに加え、金属スクラップ相場が前年同期に対して下落傾向となったことから減収減益となりました。

中古自動車の輸出手続代行サービス事業は、受注台数が増加したことから増収増益となりました。

この結果、その他のセグメントは、外部顧客に対する売上高4,109百万円（前年同期比7.5%減）、営業利益481百万円（前年同期比9.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は205,661百万円となり、前連結会計年度末と比較して16,630百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が2,092百万円増加した一方、オークション貸勘定が15,903百万円、有形固定資産が2,161百万円、のれんが1,487百万円減少したことによるものです。

負債合計は27,153百万円となり、前連結会計年度末と比較して22,948百万円減少しました。これは主に、オークション借勘定が15,957百万円、未払法人税等が3,586百万円、預り金など流動負債のその他が2,360百万円減少したことによるものです。

純資産合計は178,508百万円となり、前連結会計年度末と比較して6,318百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が6,038百万円増加したことによるものです。

<キャッシュ・フローの状況>

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して2,092百万円増加し、35,815百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は15,836百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益27,556百万円（前年同期比4.4%増）、法人税等の支払額13,301百万円（前年同期比29.6%増）、減価償却費及びその他の償却費4,038百万円（前年同期比9.1%増）によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は924百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,205百万円（前年同期比68.9%減）、有形固定資産の売却による収入622百万円（前年同期実績45百万円）、無形固定資産の取得による支出313百万円（前年同期比17.4%減）によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は12,819百万円となりました。これは主に、配当金の支払額12,438百万円（前年同期比4.7%増）によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績予想につきましては、想定する範囲内で推移しており、前回公表（2018年11月12日発表）の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,622	41,715
オークション貸勘定	18,846	2,943
受取手形及び売掛金	2,720	2,527
たな卸資産	829	1,066
その他	819	2,149
貸倒引当金	△61	△25
流動資産合計	62,777	50,376
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	37,555	35,643
土地	65,623	65,027
建設仮勘定	33	355
その他(純額)	3,295	3,320
有形固定資産合計	106,508	104,347
無形固定資産		
のれん	37,280	35,793
その他	7,536	7,121
無形固定資産合計	44,817	42,914
投資その他の資産		
投資その他の資産	8,681	8,575
貸倒引当金	△493	△551
投資その他の資産合計	8,188	8,023
固定資産合計	159,514	155,285
資産合計	222,292	205,661

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
オークション借勘定	22,339	6,382
支払手形及び買掛金	436	336
1年内返済予定の長期借入金	220	220
未払法人税等	6,954	3,368
引当金	685	355
その他	6,736	4,375
流動負債合計	37,373	15,038
固定負債		
長期借入金	3,330	3,019
退職給付に係る負債	695	744
資産除去債務	598	599
その他	8,105	7,751
固定負債合計	12,728	12,114
負債合計	50,102	27,153
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,881	18,881
資本剰余金	18,914	18,914
利益剰余金	185,835	191,873
自己株式	△47,365	△47,139
株主資本合計	176,266	182,530
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	141	△12
土地再評価差額金	△5,633	△5,633
退職給付に係る調整累計額	△6	△5
その他の包括利益累計額合計	△5,498	△5,651
新株予約権	364	425
非支配株主持分	1,058	1,203
純資産合計	172,190	178,508
負債純資産合計	222,292	205,661

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	54,003	58,339
売上原価	21,268	22,818
売上総利益	32,735	35,520
販売費及び一般管理費	6,761	8,406
営業利益	25,973	27,114
営業外収益		
受取利息	12	7
不動産賃貸料	314	338
雑収入	154	180
営業外収益合計	480	526
営業外費用		
支払利息	8	8
不動産賃貸原価	35	35
雑損失	22	10
営業外費用合計	65	53
経常利益	26,388	27,586
特別利益		
固定資産売却益	24	137
投資有価証券売却益	77	—
特別利益合計	101	137
特別損失		
固定資産売却損	6	131
固定資産除却損	79	20
その他	14	15
特別損失合計	100	168
税金等調整前四半期純利益	26,388	27,556
法人税等	8,289	8,893
四半期純利益	18,099	18,662
非支配株主に帰属する四半期純利益	427	186
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,671	18,476

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	18,099	18,662
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	88	△153
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	88	△153
四半期包括利益	18,188	18,509
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,760	18,323
非支配株主に係る四半期包括利益	427	186

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	26,388	27,556
減価償却費及びその他の償却費 のれん償却額	3,702	4,038
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	372	1,487
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△43	23
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△321	△330
受取利息及び受取配当金	97	50
支払利息	△21	△21
投資有価証券売却損益 (△は益)	8	8
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△77	—
オークション勘定の増減額	61	15
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,694	△54
仕入債務の増減額 (△は減少)	419	192
未払金の増減額 (△は減少)	△75	△99
預り金の増減額 (△は減少)	△1,445	△1,009
預り金の増減額 (△は減少)	△1,506	△1,843
その他	△841	△897
小計	25,021	29,115
利息及び配当金の受取額	45	32
利息の支払額	△8	△8
法人税等の支払額	△10,261	△13,301
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,796	15,836
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	16,000	—
有形固定資産の取得による支出	△3,880	△1,205
有形固定資産の売却による収入	45	622
無形固定資産の取得による支出	△379	△313
投資有価証券の売却による収入	86	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	△31,413	—
その他	△140	△28
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,681	△924
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△30	—
長期借入金の返済による支出	△292	△310
預り保証金の預りによる収入	91	231
預り保証金の返還による支出	△54	△464
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	205	219
配当金の支払額	△11,878	△12,438
非支配株主への配当金の支払額	△75	△40
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2	△16
その他	△9	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,046	△12,819
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△16,931	2,092
現金及び現金同等物の期首残高	47,878	33,722
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,946	35,815

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当社の連結子会社である株式会社ジェイ・エー・エーは、第1四半期連結会計期間においてオークション会場の建替えおよびオークションシステムの入替えを決定し、また、当社の連結子会社である株式会社HAA神戸は、第1四半期連結会計期間においてオークションシステムの入替えを決定しております。これにともない除却見込みとなる資産について耐用年数を建替および入替予定月までの期間に見直し、将来にわたり変更しております。

これにより、従来の方法と比べて、当第3四半期連結累計期間の減価償却費が516百万円増加し、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益が同額減少しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クシヨ	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	42,509	7,049	49,559	4,444	54,003	—	54,003
セグメント間の内部売上高または振替高	382	0	383	14	398	△398	—
計	42,892	7,049	49,942	4,459	54,401	△398	54,003
セグメント利益	25,213	151	25,364	531	25,896	77	25,973

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社アビツの廃自動車等のリサイクル事業および株式会社USSロジスティクス・インターナショナル・サービスの中古自動車の輸出手続代行サービス事業等であります。

2. セグメント利益の調整額77百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クシヨ	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	47,277	6,951	54,229	4,109	58,339	—	58,339
セグメント間の内部売上高または振替高	347	0	347	26	373	△373	—
計	47,625	6,951	54,576	4,135	58,712	△373	58,339
セグメント利益	26,394	164	26,558	481	27,039	74	27,114

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社アビツの廃自動車等のリサイクル事業および株式会社USSロジスティクス・インターナショナル・サービスの中古自動車の輸出手続代行サービス事業等であります。

2. セグメント利益の調整額74百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、「注記事項(企業結合等関係)」に記載の暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額により開示しております。

(企業結合等関係)

(比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し)

2017年8月24日に行われた株式会社ジェイ・エー・エーとの企業結合について前第3四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定にともない、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されており、取得時点(みなし取得日 2017年9月30日)において、主として顧客関連資産の認識などにより無形固定資産のその他が5,144百万円増加した結果、暫定的に算定されたのれんの金額は27,619百万円から2,853百万円減少し、24,766百万円となっております。

なお、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に与える影響は軽微であります。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2019年2月12日開催の取締役会において、会社法165条第3項の規定より読み替えて適用される同法156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議しました。

1. 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行すると共に、資本効率の向上と株主還元の実現を図るものであります。

2. 取得に係る事項内容

- | | |
|----------------|---|
| (1) 取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 取得しうる株式の総数 | 5,000,000株(上限)
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合1.96%) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 10,000百万円(上限) |
| (4) 取得方法 | 市場取引 |
| (5) 自己株式取得の日程 | 2019年2月13日～2019年9月20日 |

3. 補足情報

(1) 業績

(連結業績)

(単位：億円)

	2018年3月期	2019年3月期		
	第3四半期	第3四半期	増減率(%)	通期予想
売上高	540	583	8.0	792
営業利益	259	271	4.4	373
経常利益	263	275	4.5	378
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益	176	184	4.6	250

(2) セグメント別営業収益

(連結業績)

(単位：億円)

	2018年3月期	2019年3月期		
	第3四半期	第3四半期	増減率(%)	通期予想
《オートオークション》				
出品手数料	100	112	11.1	153
成約手数料	98	108	10.6	148
落札手数料	142	162	13.6	223
バイクオークション手数料	5	5	12.2	7
商品売上高	14	16	16.7	20
その他の営業収入	63	67	5.7	88
オートオークション計	425	472	11.2	642
《中古自動車等買取販売》				
中古自動車買取販売	42	40	△5.2	53
事故現状車買取販売	28	29	4.3	39
中古自動車等買取販売計	70	69	△1.4	93
《その他》				
廃自動車等のリサイクル	40	36	△9.7	50
中古自動車の輸出手続	3	4	15.0	5
代行サービス	0	0	4.6	0
その他	0	0	4.6	0
その他計	44	41	△7.5	56
合計	540	583	8.0	792

(注) バイクオークション手数料は、株式会社ジャパンバイクオークションが運営するバイクオークションの手数料であります。

(3) 設備投資額、減価償却費

(連結業績)

(単位：億円)

	2018年3月期	2019年3月期		
	第3四半期	第3四半期	増減率(%)	通期予想
設備投資額				
支出ベース	42	15	△64.3	27
完工ベース	35	15	△55.7	32
減価償却費	36	39	9.5	53